



新センター開所目前シンポジウムを五十嵐キャンパスにて開催!



新穂小学校で森についての授業と、天然スギの端材を利用したネームプレートを制作しました。



トキ交流会館で開催した三施設合同学生発表会、一般の方のご来場、ありがとうございました。



新潟大学演習林ニュースレター

Niigata University Forest Newsletter

新潟大学農学部附属フィールド科学教育研究センター 佐渡ステーション

第13号 2019年3月

AFEC-X2018に参加して

2018年10月15日から11月27日にかけて、中国科学院西双版納（シーサンパンナ）熱帯植物園(XTBG)で開催されたAdvanced Fieldcourse on Ecology and Conservation in XTBG, China 2018 (AFEC-X 2018)に参加しました。XTBGは中国南部の雲南省シーサンパンナ・タイ族自治州にある観光客に人気の植物園ですが、約100人の科学者が在籍する中国科学院の生態系保全分野における主要な研究拠点の一つでもあります。昨年、新潟大学農学部はXTBGと交流協定を結び、今回はそれを利用した研究派遣という形の参加となりました。AFEC-Xは生態学や保全をテーマとしたトレーニングコースで、文献調査、プレゼンテーション技術、ライティングスキル、研究デザイン、サンプリングやデータ解析手法など、多岐に渡る研究スキルの習得を目指します。東アジア地域を中心に13か国から、学部生、大学院生、レンジャー、大学講師など、様々なバックグラウンドを持った28人が集まり、約6週間寝食を共にしながらコースに参加しました。



野外実習は1,125ha（うち250haは原生的な熱帯雨林）の面積を有する植物園内で行われました。

野外実習が行われます。特にワークショップ形式で議論を行う機会が多くあり、そこでは文献調査や議論を通して短時間で成果をまとめることができます。英語に苦手意識を持つ学生も少なくありませんでしたが、私も英語による議論の経験は全く無く、議論に参加することが難しい場面もあったため、今後の私の大きな課題です。

コース後半の2週間では、5人程のチームを組んで、テーマを設定してミニプロジェクトに臨みます。仮説設定から最終プレゼンまで約2週間という短いスケジュールのなかで、数回にわたり発表を行い、フィードバックを受けながら研究を進めます。私は植物の熱耐性に関する生理生態学的研究を行うチームに参加し、タイと中国出身の大学院生3人とともに研究に取り組みました。時

にはチーム内の意見の食い違いなど、グループワークならではの困難もありましたが、チームで協力して研究をまとめ大きな達成感を感じました。また、熱帯雨林については論文などで知るのみで、実際に訪れるのは初めてでした。高さ約50mの林冠を形成するフタバガキ科の高木やそこに現れる動植物、またそれを取り巻く広大な天然ゴムプランテーションなどは、温帯の二次林をフィールドにする私にとって新鮮な光景でした。

研究活動のスタート段階は重要ですが、研究経験の浅い多くの学生にとっては困難に感じるでしょう。コース全体を通してタイトでハードなスケジュールでしたが、研究に必要とされる多くの経験できるAFEC-Xは、今後研究を進める上でとても有益な経験となりました。また、海外の大学院における自由闊達な議論を行う雰囲気や学生の高い熱量を感じたことは、大きな刺激となりました。さらに、多くの方々とのネットワーク形成や、多くのよき友人を得たこともまた、AFEC-X参加の大きな収穫になったと思います。



樹高約50mのフタバガキ科高木によって林冠が形成されている熱帯雨林（西双版納国立自然保護区内にて）



"よく働き、よく遊ぶ(飲む？)"がシーサンパンナ流。

（佐渡研究室 修士課程1年 平方広大）

シリーズ

研究紹介⑩ 里山の窒素循環

里山は農地や森林、ため池などがモザイク状に混在する景観を指します。イメージが湧かない方は、田舎に広がる田んぼとその後ろにドンと構える山の風景を思い浮かべてみてください。ぼんやりと幼少期を思い出させる、なんとなくノスタルジックな気分になる景観が浮かび上がりませんか？それが里山です。



佐渡市岩首地区の里山景観

里山は「二次的自然」と呼ばれ、人間が自然を適度に利用することで環境が維持されてきました。しかし、近年里山は農村部

から的人口流出に伴う耕作放棄地・放棄二次林の拡大や、化成肥料の利用に伴う環境負荷の増大によって、その環境が激変してます。つまり適度な自然利用によって保たれてきた環境のバランスが崩れています。私はそういった放棄や環境負荷の現状を定量的に示すために、佐渡市岩首地区の里山において水文プロセスと人為プロセスによる窒素動態の解明を目指し、研究を行ってきました。

3年間の研究の結果、森林は放棄されたことによって多量の窒素を蓄積している可能性や、肥料の投入時期には下流域への窒素流出が増加することなどが示されました。今後里山の維持・管理を考える上で、森林の有する窒素資源を有効に利用することや下流域への流出負荷を抑えることが重要になると考えられます。私の研究は3月にて終了となります。森林の窒素蓄積量や窒素流出が環境に与える影響など、明らかにしたいことが無数に存在します。我が研究室ではこれからも里山研究を継続していくようなので、これらが明らかにされる日が来る事が待ち遠しいです。

(佐渡研究室 修士課程2年 井田勇也)

新潟大学佐渡自然共生科学センター発足

今年4月より、農学部附属フィールド科学教育研究センター佐渡ステーションは佐渡自然共生科学センター演習林（森林領域）として再出発します。これまで佐渡島には、佐渡ステーション、朱鷺・自然再生学研究センター、理学部附属臨海実験所の3つの新潟大学の施設がありました。統合して佐渡自然共生科学センターとして教育、研究そして地域貢献を推進することになります。6月には、あいぽーと佐渡で新センターのシンポジウムを開催し、佐渡の皆さんに新センターのお披露目をする予定です。

佐渡演習林は1955年に発足し、その後、2001年に農場と統合し、農学部附属フィールド科学教育研究センターとなりました。

2012年には文科省教育関係共同利用拠点に認定され、本学の農学部だけではなく他大学の実習も受け入れています。今後は、河川で繋がる森里海の自然や、社会・歴史などの複合領域の研究、共同利用拠点である演習林と臨海実験所を中心とした全国や海外からのフィールド教育の受け入れ、地域貢献では佐渡市と連携して、世界農業遺産やジオパークなどのツーリズムに関するガイド教育の取り組みへの支援などをしていきます。

今後とも、大学関係者や市民の方々の新たなセンターへのご支援をよろしくお願いいたします。

(教授 崎尾均)

お知らせ

■公開実習

樹木生態学特論 2019年

—佐渡フィールドスタディ— 5月20日(月)～23日(木)(3泊4日)

佐渡島の様々なフィールドで樹木などの生態や生活史を比較観察するとともに、植物生態写真の撮影方法をプロの植物写真家の指導のもとに学びます。

対象：自然科学分野を専攻する大学院生 定員：15名(先着順)

申し込み方法：佐渡ステーション(演習林)まで、メール(アドレス:sadoken2011@gmail.com)にてご連絡下さい。

件名を「樹木生態学特論 参加申し込み」とし、本文に氏名、性別、所属大学、学科、連絡先(電話番号など)を明記して下さい。

参加費：10,000円／人(実習中の食事、宿泊代込み) 実習初日、佐渡ステーションで集金します。

佐渡島までの交通費は各自負担(実習費に含まれず)でお願いします。

・本実習では、必ずデジタルカメラ(コンパクトが望ましい)を持参して下さい。

・実習の詳細は佐渡ステーションのホームページでご確認下さい。

特別講師：植物写真家 いがりまさし氏

1960年豊橋市生まれ。関西学院大学文学部美学科中退。前後して、自転車で「日本一周笛吹行脚」。その後、リコーターを神谷徹氏に師事。25歳の時、富成忠夫氏の作品に出会い植物写真を志す。印刷会社のカメラマンを経て、1991年独立。写真家、植物研究家として、幅広いメディアに出稿活動を展開。2009年ごろより音楽活動を再開。自然と伝承音楽をお手本に、映像と音楽で紡ぐ自然からのメッセージを伝える活動を全国で展開中。

申し込み締め切り

4/25(木)

参加者募集中!

共同利用実習募集中!

佐渡ステーションでは、共同利用実習、演習林での調査・研究の受け入れを随時行っています。お気軽にご相談ください。

実習の様子などをブログで紹介しています

佐渡研究室 検索



編集後記：

今年の佐渡島は、例年よりも一足先に春の気配を感じられます。来年度より、新センターが発足し、佐渡ステーションは演習林として新たに発足します。本ニュースレターは、引き続き発行する予定です。変わらぬご愛顧を頂けますよう、よろしくお願いいたします。

(特任助手 菅尚子)

新潟大学演習林ニュースレター

編集・発行：新潟大学農学部フィールド科学教育研究センター 佐渡ステーション

〒952-2206 新潟県佐渡市小田94-2

tel: 0259-78-2613 fax: 0259-78-2929 e-mail: sadoken2011@gmail.com

ホームページ http://www.agr.niigata-u.ac.jp/fc/sado_html/sado_index.html

リサイクル適性Ⓐ

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。